協働事業評価・報告書

事業名	かながわ乳がん検診向上モデル構築事業
団体名	一般社団法人乳がん予防医学推進協会
県協働部署名	がん・疾病対策課
事業期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

1 個別事業ごとの進捗状況

事業 1	かながわ乳がん検診向上モデル構築事業
(1) 目標	乳がんの早期発見の意義を定着させる。その為受診者が行きたいと思える検診を行い、また、医療者も参加したいと思える検診を企画する。事業を自立させ、最終的に県の目標値である乳がん検診受診率60%以上を目指す。
(2) 実績 ※事業の実施によって生じた結果を、数値等により箇条書きで記入してください。 ※この欄に入りきらない場合は、別紙も可。	<p>1. 5/14 (日) 母の日女性のためのワンコイン乳がん検診会 汐入のベイサイドポケットにて開催。 開催日：5/14 (日) 12時～16時 参加実績：34名 (応募者28名、当日7名、欠席1名) 要精検者2名 ・欠席も少なく、人数もほぼ目標に達成した。</p> <p>2. 8/6 (日) 夏だ！夏の乳がん検診会&こども職業体験会 子ども職業体験会と合わせて、施設内で実施。 開催日：8/6 (日) 9時～17時 参加実績：15名 (応募者16名、欠席1名) 要精検者0名 ・子どもの参加者が少なかった、広告の出し方に問題があったか。近所の折込広告は効果があった。</p> <p>3. 10/8 (日) 逗子検診会 開催日：10/8 (日) 10時～13時半 参加実績：30名 (応募者33名、当日30名、欠席3名) 要精検者3名 ・昨年と同様の場所で縁日と合わせて開催。地元の協力もあって予約はすぐ埋まった。</p> <p>4. 10/9 (祝) 大和シルフィード女性のための検診会 開催日：10/9 (祝) 11時～16時 参加実績：12名 (応募者3名、当日9名) 要精検者1名 ・開催決定が遅かったために広告が遅れてしまい、開催前1週間くらいだった。天候も悪く、次回に期待。</p> <p>5. 鶴見はまかぜクリニック市検診会 開催日：10/15 (日) AM9時～PM13時 参加実績：15名 (応募者15名、当日・欠席0名) ・当日は昨年同様エコー検査も同時受診可能とし、受診者の満足度は高かった。前回よりは予約は伸びた、広告のまき方に工夫が必要。</p> <p>6. 11/25 (土) ららぽーと平塚検診会 開催日：11/25 (土) AM10時～PM17時 参加実績：69名 (応募者75名、欠席6名) ・前回に引き続きららぽーと平塚にて市検診で、視触診とマンモグラフィ撮影の2つを行った。予約枠はすぐに埋まった。</p> <p>7. 極楽湯芹が谷店×さつき台診療所乳がん検診会 開催日：2/18 (日) AM9時～PM17時 参加実績：32名 (応募者23名、当日9名) ・温泉施設との初コラボ。温泉に通う常連の方が、だいが事前予約してい</p>

	<p>ただいた。広告を温泉内にほぼ限定していたため、もう少し外部へ情報を発信すればもう少し来たかもしれない。</p> <p>8. 女性医療クリニック LUNA 横浜元町×サンデー乳がん検診会 開催日：3/17（日）9時～13時 参加実績：21名（予約22名、キャンセル3名、当日2名） 検診内容：マンモグラフィ、乳エコー、子宮頸がん検診 ・エコーも子宮検診も同時に受診できたので需要が高く、近隣の方々が来て満員となった。</p> <p>9. 座間市イオンモール検診会 開催日：3/17（日）10時～17時 参加実績：57名（応募者60名、当日3名、欠席6名） ・昨年に引き続き受診する方も多かった。イオンのアプリで配信された途端に、一日30の予約が入ることもあった。</p>
<p>(3) 実績・成果に対する評価 ※実績や成果についてどのように考えているかを記入してください。</p>	<p>9回に渡り、スポーツイベントやショッピングモールでの検診など、昨年度に引き続き市町村単独では取り組みづらい事業を実施していただいた。大和シルフィード、極楽湯など、新たな協働先を見つけることができた点は高く評価できる。</p> <p>事業を通じ、市町村に協働を広げていくには、郡市医師会から理解を得る必要があるという課題も新たに出了ため、来年度はそのためのデータ収集・作成等を行い、今後、より多くの自治体で実施できるようになることを期待している。</p> <p>当課では、取組のひとつである「乳がん検診へ行こう絵画コンクール」の共催として、県のたより9月号への掲載、県HPでのPRなど、広報面の協力を行った。</p>
<p>(4) 進捗状況</p>	<p>ア) この事業の進捗は何%ぐらいですか。(90%) ※1年間で目標が達成できた場合に「100%」になることを基準に判断してください。</p> <p>イ) 上記ア)のように判断した理由を記入してください。 検診の取組の輪を広げることができた一方で、郡市医師会の理解がないと新たな市町村での取組が難しいと聞いているところである。今年度の成果をデータ化し、多くの市町村等で導入できるよう、モデルを構築していく必要があると考えられるため。</p> <p>ウ) この事業の課題と対応策 スポーツチームなどから、検診イベントをやってみたいが、費用の目安や手続き等分からないといった問合せを受けることがあった。モデル構築に加え、データや概要をまとめた資料の作成なども行うと良いのではないかと。</p>

(注) 個別事業が2つ以上ある場合は、上の表を複写して記入してください。

2 協働事業を継続する上での課題とその対応策

ショッピングモールなどの検診の際は、飛び込みで受けたいという方も多くいらっしゃると思われ、検診車等のキャパシティがあり改善が難しいが、なるべく多くの方に参加いただける仕組みづくりや、難しい場合に自治体の検診へ上手く誘導するツール等を検討できると良いと思う。

一方で、集客に苦勞しているケースもあり、効果的な広報物や手段の検討も必要である。

3 負担金事業終了後の当該協働事業の見通し

(継続事業のため、回答不要)

4 協働事業の評価（はい・いいえ・どちらともいえない、のいずれかに○をしてください）

(1) 協働事業の成果

①	協働することで、単独で事業を行うよりも効果やメリットがありましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
②	事業の受益者の満足を得ることができましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
③	②で「はい」を選んだ場合、受益者の満足度を調べるためにどのようなことをしたかを記入してください。 団体におけるアンケート調査	
④	協働事業の成果を記入してください。 アンケート結果では、昨年度に引き続き、若い世代にも受診していただき、受診した方の意識が改善するなど、効果的に事業が実施されていたことが分かった。多くの市町村で実施するためには、郡市医師会の理解を得ることが重要といった新たな課題も出てきたため、今年度の成果をもとに、がん検診率の向上に繋がる効果等を示し、この取組が県内でもっと広がっていくと良いと思う。	

(2) 協働事業の協議の状況

<企画段階>

①	事業計画や目標の立て方について、団体と県とは事前の調整や協議を十分行いましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
②	団体と県とは対等な立場で協議を行いましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
③	締結した協定書は事業を効果的に実施する上で適切でしたか。	はい・いいえ・どちらともいえない

<実施段階>

①	意思の疎通を円滑にし、事業の進捗状況を確認するため、団体と県とは節目ごとにメールや電話でのやりとりや定期的な協議を行いましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
②	団体の状況や担当者の置かれている立場についての理解に努めましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
③	必要な情報を県と共有することができましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
④	協議についての課題を記入してください。 急に案件が決まるケースもあるが、早めにスケジュールや広報予定を共有いただけると県でも広報協力できる可能性があると思う。	

(3) 協働事業の役割分担

①	団体との役割分担は適切でしたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
②	協働事業の実施にあたって、あらかじめ定められた役割を果たすことができましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
③	役割分担についての課題があると思われる場合は、記入してください。	

(4) 協働事業全体を通しての評価

①	全体として、団体と県とは対等な立場で協働ができましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
②	この事業の課題を解決する上で、協働という手法は有効だと思いましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
③	協働事業全体を通じて気づいた点を記入してください。 今年度は新たな団体との検診イベントを実施することができ、協働の輪が広がったことは高く評価できる。過年度の取組を見て興味を持った団体等から問合せがあったケースもあり、関心を持っていても具体的なイメージや手続きがわからず、実行に移せなかった団体もあるのではないかと思います。 また、県との協働事業ということで安心して参加してもらえるケースもあると聞いており、来年度も引き続き協働の輪が広がっていくよう取り組みたい。	

(5) 社会的認知の獲得

①	取り組んでいる事業や成果について社会に知らせましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
②	①で「はい」を選んだ場合、具体的に何をいどんな反応があったか（無かったのか）を記入してください。 県のたより9月号及び県HPにおいて、「乳がん検診へ行こう絵画コンクール」の作品募集や表彰式等の広報を行った。	
③	今後に向けた課題を記入してください。 検診事業は市町村が密接に関わっているケースが多いため、市町村や郡市医師会の広報協力が得られるとより啓発効果が上がりそうであるが、市町村も広報には苦慮していると聞くため、より効果的な手段等を検討していく必要がある。	

(6) 新たなネットワークの獲得

①	この事業を実施する上で新たなネットワークをつくる（広げる）必要性がありましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
②	①で「はい」を選んだ場合、ネットワークをつくる（広げる）努力しましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない

③	②で「はい」を選んだ場合、どんな努力をしたのかを記入してください。 本事業を実施したい、検討している市町村やスポーツチーム等を団体に繋いだ。	
④	②で「はい」を選んだ場合、ネットワークをつくる（広げる）ことができましたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
⑤	④で「はい」を選んだ場合、具体的に関係（連携）ができた機関の名称を記入してください。 大和シルフィード（大和市の女子サッカークラブ）	

(7) 行政の施策等への影響

①	協働事業の実施により、県職員のボランティア団体等に対する認識や行政の施策等に影響を与えることができましたか。（協働部署にあつては、影響を与えられたかどうかを回答してください。）	はい・いいえ・ <u>どちらともいえない</u>
②	①で「はい」を選んだ場合、具体的に変化や影響があったと思われることがあれば記入してください。	

(8) 費用対効果

①	事業の効果から見て、要したコストは適切でしたか。	はい・いいえ・どちらともいえない
②	①で「いいえ」を選んだ場合、その理由と、今後の対応策を記入してください。	